

オンライン 高齢者ケア勉強会

話が通じず理解に苦しむ行動が・・・  
その人「意味性認知症」かもしれません。

## 意味性認知症の理解と生活支援

認知症の中でも症例が少なく情報が不足している「意味性認知症」。言葉を話したり文字を読んだりするのはスムーズですが、その意味を理解するのが困難になる疾患です。記憶の低下は緩やかで行動力は残存するのに言葉の理解が困難になるがゆえに、介護者の負担は大きく、ご本人も介護者も共に苦悩が増大していきます。今回は、そんな意味性認知症に対して、疾患の特徴を正しく理解し、どのような生活支援が求められるのかを学びたいと思います。

話題提供をいただくのは、なな一るスタッフがいつもお世話になっている、患者さん思いのとっても素敵な認知症専門医：釜江和恵先生！！釜江先生はいつも、パーソン・センタード・ケアの実現に向けて、医師の立場から様々な意見をくださいます。この機会にぜひ、多職種で一緒に勉強しましょう！

日時 2021年12月9日(木) 18:30~20:00

Zoom を用いたオンライン開催



話題提供者 釜江和恵先生(日本認知症学会専門医・指導医ほか)

対象 高齢者ケアに関心のある方々(医療職・介護職の方々)

釜江和恵先生 公益財団法人浅香山病院精神科・認知症疾患医療センター長

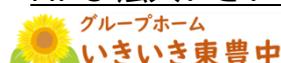
認知症患者さんの診療に留まらず、堺市認知症初期集中支援チームにも関わりながら、認知症の方が暮らしやすい地域づくりにも積極的に取り組まれています。

共催 なな一る訪問看護ステーション



箕面市西小路 5 丁目 2-10-102 TEL 072-737-6312

NPO 法人いきいきライフ協会



豊中市熊野町3丁目3-47

お申し込みフォーム→



お問合せはメールで [info@nana-r.jp](mailto:info@nana-r.jp)